

ペルー沖縄県系人関係資料を探す

ペルーへ初めて渡った日本人は、1899年に佐倉丸でカヤオ港に到着した790名であった。沖縄からのペルー移民は、1906年に巖島丸で渡航した36名に始まる。1923年に契約移民が廃止されるまで、沖縄から約4,000人が渡航し、それ以降は自由移民として約7,000人がペルーへ渡った。また、戦後も縁者からの呼び寄せにより700人以上が渡航した。1974年の外務省の調査では、沖縄県人は日系人の6割以上を占めている。

ここでは、ペルー県系人のルーツ調査に役立つ主な資料を紹介する。

1. 事典・参考図書

『**沖縄大百科事典**』 沖縄タイムス社 1983年 【K03/O52】
 上中下3巻・別巻からなり、約17,000項目を収録。「ペルー移民」「秘露沖縄救援連盟会」「ペルー沖縄県人会」「ペルー新報」等の項目がある。

『**沖縄縣史 別巻 沖縄近代史事典**』 沖縄県教育委員会 1977年 【K201/O52】
 19世紀半ばから沖縄戦終結までの近代沖縄に関わる重要項目742件の解説を収録。「ペルー移民」などの項目がある。

2. 概説書

『**沖縄縣史 第7巻 各論編6 (移民)**』 沖縄県教育委員会編 1974年 【K201/O52/7】
 沖縄移民の総説、歴史、社会的背景、分布に加え、各論として各国・地域の移民状況を概説し、ペルーについても記述がある。

『**日本移民の地理学的研究**』 石川友紀著 榕樹書林 1997年 【K334/I76】
 沖縄から出移民総論のほか、「第15章 ペルーにおける日本契約・自由移民」の中に「ペルーにおける沖縄県出身移民」など記述がある。

『**ペルーの日本人移民**』 アメリア・モリモト著 日本評論社 1992年 【K334/MO55】

『**在ペルー邦人75年の歩み 1899年-1974年**』 伊藤力ほか編著 ペルー新報社 1974年 【K334/Z1】

『**ペルー移民七十五周年記念誌**』 伊芸銀勇編 1987年 【K334/I22】

『**沖縄ペルーにての1世紀 OKINAWA Un siglo en el Perú**』 諸見里・宮里ドリス編 2006年 【K334/Mo76】

『**ペルー沖縄県人移民110周年 1906-2016**』 ペルー沖縄県人会 2016年 【K334/P43】

3. 渡航記録

3-1. データベース

沖縄県系移民 渡航記録データベース 1899-1941

(<https://opl.okinawan-migration.com/>)



沖縄県立図書館、ハワイ沖縄系図研究会 (<https://ogsh.warubozo.com/home/>)、沖縄移民研究センター (<https://okinawaimin.sakura.ne.jp/>) が連携して整備したデータベース。1899 年から 1944 年の間に、沖縄県系移民の渡航記録約 60,000 件を収録。ハワイ、ブラジル、ペルー、フィリピンなど 26 の国と地域の渡航先を網羅し、氏名から、移民国、生年月日 (年齢)、性別、渡航日 (旅券発行日)、戸主との関係、渡航目的、本籍地の検索が可能である。また、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語に対応。ペルーへの渡航記録は約 10,000 件収録。

Pioneros——ペルー日本人移民データベース 1899-1941

(<https://jommdms.jica.go.jp/jp/>)



ペルー日系人協会と JICA 横浜海外移住資料館による共同プロジェクトで、1899 年から 1923 年にかけて契約移民として渡航した 18,727 人全員と、1923 年から 1941 年にかけて自由移民として渡航した約 11,650 人のうち 2,348 人分のデータが収録されている。氏名から、出身都道府県、船舶名、ペルーへの到着日、配耕地名の検索が可能。

3-2. 図書資料

『沖縄県史料 近代 5 (移民名簿 I)』 [1899-1906 年]

沖縄県立図書館史料編集室編 沖縄県教育委員会 1992 年

【K201/O52】

『沖縄県史料 近代 6 (移民名簿 II)』 [1907-1911 年]

沖縄県立図書館史料編集室編 沖縄県教育委員会 1994 年

【K201/O52】

『沖縄県史 資料編 6 近代 1 (移民会社取扱移民名簿)』 [1912-1918 年]

沖縄県文化振興会公文書館管理部史料編集室編 沖縄県教育委員会 1998 年

【K201/O52】

『沖縄県史 資料編 11 近代 3 (移民会社取扱移民名簿)』 [1919-1926 年]

沖縄県文化振興会公文書館管理部史料編集室編 沖縄県教育委員会 2000 年

【K201/O52】

『外務省記録「海外旅券下付表」』 (全 65 冊) [複製] 外務省[編]

【K334/MO55, 資料 ID: 1010041620 ほか】

『沖縄県史料』『沖縄県史 資料編』の元となった資料。外務省外交史料館所蔵「外務省記録 (海外旅券下付表)」から沖縄県に本籍がある移民を抽出したもの。収録範囲は 1889(明治 32)年 2 月～1944(昭和 19)年 9 月まで。64 巻は、「海外興業株式会社海外渡航者名簿」昭和 8 年～昭和 15 年ペルー行の名簿である。

『秘露移民航海者名簿 01』 [複製]

【K334/P43, 資料 ID: 1009856343】

『秘露移民航海者名簿 02』 [複製]

【K334/P43, 資料 ID: 1009856368】

国立国会図書館がマイクロフィルム化した「日本人ペルー移住史料館“平岡千代照”」所蔵資料の一つである。マイクロフィルムリール 2～4 に所収の秘露移民航海者名簿を当館が抜粋し、製本したものである。01 は 1899 年の第 1 航海から 1915 年の第 40 航海まで、02 は 1916 年の第 41 航海から

1923年の第82航海を収録。どちらも日本人ペルー移民全体の記録である。

『出域者名簿 南米関係』[1948-1953][複製] 琉球政府法務局出入管理部審査課[編]

【K334/R98, 資料ID: 1009921923】

琉球政府が作成した1948年から1953年までに中南米へ渡航した1,820名の記録である。戦後、海外渡航が再開された初期の記録で、海外で生まれ沖縄で教育を受けていた二世が再渡航した際の記録が多い。氏名・渡航日・渡航先・居住地などの記録があり、渡航先はブラジル・アルゼンチン・ペルー・ボリビア・メキシコである。原資料は沖縄県公文書館所蔵。

『ボリビア・コロニア沖縄入殖二十五周年誌』 金城達己編 1980年 【K334/B65】

1952年のペルーに入学できず、暫定的にボリビアに入学したペルー移民呼称45名（主に2世）の氏名を網羅している。

『移住者原簿 ペルー・ボリビア6』[複製] 琉球政府作成 【K334/O52/6, 資料ID: 1010041547】

琉球政府の移住課が作成したペルー(1957-1970年)・ボリビア(1954-1970年)へ移住者の個票。移住者世帯の生年月日、本籍、現住所、家族構成および保証人の住所氏名の記載あり。原資料は沖縄県公文書館が所蔵。

4. 主要な図書

4-1. 県・日系移民全体

『南米秘露及暮利比亞寫真帖』[複製] 水野亮ほか編 日秘新報社 1924年 【K334/MI96】

『南米秘露沖縄県人写真帖』[複製] 金城親情著 リマ日報社 1932年 【K334/KIi4】

『在秘露ミラフローレス町日本人会会員名簿 昭和8年1月現在』[複製]
在秘露ミラフローレス町日本人会[編] 1933年 【K334/Z1】

『在秘同胞年鑑 昭和10年版』 桜井進編 日本社 1935年 【K334/Z1】

『在秘同胞名簿同朋寮 沖縄縣支部(各村別)其ノ二 昭和廿四年調』[複製] 1949年 【K334/Z1】

『共同聯盟会員名簿 昭和二十五年度』 謄写版 [在秘日本人共同聯盟] 1950年 【K334/Z1】

『ペルー日本人在留調査』(全6冊)[複製] 1954年 【K334/P43, 資料ID: 1009856228 ほか】

国立国会図書館がマイクロフィルム化した「日本人ペルー移住史料館“平岡千代照”」所蔵資料の一つ。1954年に在リマ日本領事館が行った在留邦人の実態調査の記録である。世帯主の氏名、生年月日、本籍地、父母名、出生地、到着年月日、職業、現住所、世帯構成員(氏名・生年月日等)などが調査されている。約3,600世帯中、半数が沖縄県人世帯であった。

『ペルー沖縄人会創立五十周年記念写真帖 1910-1960』 當山全成編 1964年 【K334/P43】

『在秘邦人団体名簿 独立祝賀記念号附録』[複製] [ペルー新報社編] 1963年 【K334/Z1】

4-2. 市町村別

- 『創立45周年記念写真帖 1920-1965』[ペルー大宜味村人会編] [1965年] 【K334/P43】
- 『在秘露名護町人会創立拾五周年記念誌』[複製] 在秘露名護町人会編 1935年 【K334/Z1】
- 『ペルー宜野座村人会創立50周年記念誌 1960-2010』
ペルー宜野座村人会記念誌作成委員会編 2010年 【K334/P43】
- 『ペルー沖縄市郷友会 20年の歩みと証言記念機関紙(1979~1999)』
ドリス諸見里・宮里編著 1999年 【K334/P43】
- 『在秘露西原村人会 復活記念住所録 1954年4月9日現在 Directrio Nishihara1954』[複製]
在秘露西原村人会[編] 【K334/Z1, 資料ID: 1009357813】
- 『在秘露西原村人会住所録 1966年6月6日現在 Directrio Nishihara 1966』[複製]
在ペルー西原村人会[編] 【K334/Z1, 資料ID: 1009357839】
- 『在秘露西原村人会住所録 1975年8月現在 Directrio Nishihara 1975』[複製]
在ペルー西原村人会[編] 【K334/Z1, 資料ID: 1009357854】
- 『在秘露大里村人会創立二十周年記念誌』[複製]
在秘露大里村人会記念誌編集部[編] 1940年 【K334/Z1】
- 『村人会五十年の歩み』 ペルー玉城村人会[編] 1969年 【K334/P43】

5. AV資料

- 『沖縄県系移民音声資料 ペルー編』(全16点) 【K334/O52, 資料ID: 1500097934 ほか】
沖縄史料編集所移民聞き取り調査として、大城立裕が1973年及び1978年に海外の県人居住地を訪問し、採録したインタビュー音声資料のペルー編。ペルー関連の音源は16点あり、八木宣貞・翁長良真・伊芸銀勇・仲宗根敏夫・池宮城秀長・比嘉良行・仲田忠司・山川宗英・仲地栄松・當山全成・天願詠吉・島袋盛徳・比嘉恵夫・天願庄太郎・岸本広安・具志堅興信・仲宗根安喜・具志堅善光らの体験談や座談会の音声収録される。

『国立国会図書館 移民聞き取り調査』 シリーズ

国立国会図書館職員が聞き取り調査した沖縄県系ペルー移民の音声資料。国立国会図書館憲政資料室から当館が複製製作。

- 『伊芸銀勇録音資料』[1985年] 【K334/Ko49 資料ID 1500071855】
- 『親川政昌録音資料』[1983年] 【K334/Ko49 資料ID 1500071756】
- 『仲地正男録音資料[1][2]』[1992年] 【K334/Ko49 資料ID 1500071772 ほか】

『沖縄発われら地球人 ペルー編』 第1回～第12回（最終回） 沖縄テレビ放送／制作・著作

【K334/O52, 資料ID: 1500092349 ほか】

1985年から2004年まで放送された世界各地でウチナーンチュ（沖縄人）取材した紀行番組。1995年に『世界ウチナーンチュ紀行』に改題された。ペルー編は1995年10月から1996年2月まで12回放送された。

<出演者>

カルメン・ヒガオンナ／ハイメ・タイラ／サムエル・マツダ／ノエ・イナフク／平良マカト／リカルド・ヒガ／アウグスト・ナカソネ／エレナ・コハツ／大城新七／屋宜宣宏／諸見里安憲／嶺井清栄／ルイス・タケハラ／嵩原久正／徳田節子／内田カマ／知念カマ／ローサ・又吉／藤森ムツエ／アルベルト・フジモリ／ミゲル・城間／赤嶺全重郎／呉屋ウシ／城間ウメ／アレハンドル・奥間／玉城信俊／比嘉啓発／オスカル・徳村／徳村音子／サンティアゴ・伊芸／アントニオ・小橋川／伊芸銀勇／仲宗根安德／比嘉栄吉／ユキ・崎浜／岸本利順／フェルナンド・金城／金城新哲／ヨランダ・名幸／エリザベス・小波津／名幸芳弘／名幸芳貞／フェルナンド・比嘉／ウグスト・池宮城